



せきおくふち 石憶の縁

磐座信仰の解釈と再構築

私の地元、三重県には丹倉神社という巨石を祀る磐座信仰の神社があります。

石の窪みに小さくつくられたお供え物の場と祈りの場や

石にかけられた細い結界の縄は決して豪華ではありません。

しかし、そこにこそ侘び寂びの精神が現れているように思います。

土地に合わせたしつらえ、最小限の結界によってただの石がその土地を守り鎮める神様となる。

磐座に出合った瞬間、意識が石に集中されその直後俯瞰で自分と石と周囲を知覚する感覚。

石は静かに私たちを見守り、傍で座っていてくれる。私たちも石を大切にし、共に座る。

私は思います。祈りの場は、石が憶い石を憶う縁側のようなものなのではないだろうかと。